

# 第一節 大正九年

## 大正九年度東京美術學校年報

### 甲 款

#### 概況

大正九年四月七日豫備科及本科入学許可者氏名ヲ官報ニ發表ス

同年同月九日新入学生ノ入学式ヲ行フ

同年十月四日本校設置記念日ナリシモ本年ハ都合ニヨリ記念式ヲ

舉行セズ 同日單ニ休業セリ

同年同月三十日午前九時ヨリ本校講堂ニ於テ職員生徒一同參集ノ

上教育勅語煥發三十年記念式ヲ舉ゲ御真影奉拜勅語奉讀ヲ行ヒタ

リ

大正十年一月八日午前十時ヨリ例ニ依リ職員生徒一同講堂ニ參集

シ授業始式ヲ舉ゲ 御真影奉拜勅語奉讀ヲ行ヒタリ

同年三月三日東宮殿下御渡歐ニ付當日授業ヲ臨時休業トシ御奉送

代表トシテ本校ヨリ職員生徒約五十名午前六時三十分神田橋内ニ

集合シ夫レヨリ東京驛附近御通路指定ノ場所ニ參列シ九時三十五

分殿下ノ御啓行ヲ奉送シタリ

同年同月二十四日午前十時ヨリ本校第三十回卒業式ヲ行ヒ例ニ依

リテ卒業製作ヲ別室ニ陳列シテ來賓ノ觀覽ニ供シ翌二十五日ハ廣

ク本校関係者及有志者等ニ觀覽セシメタリ

#### 規程

大正九年八月十七日勅令第二百五十號同第二百五十八號ヲ以テ高等官々等俸給令及判任官俸給令ニ改正ヲ加ヘラレ本校ニ在リテハ學校長、教授以下職員ノ俸給ヲ増額サレ又學校長ノ高等官一等等ニ陞叙サル、特例ニ就テモ改正セラル

#### 設備

一、日本畫科標本臨時設備費

二、西洋畫科標本臨時設備費

三、彫刻科標本臨時設備費

標本ハ藝術家ヲ養成スル本校ニ於テハ其生命トモ云フベキモノナリ 故ニ日本畫ニ於ケル各派ノ粉本ヲ選擇蒐集シ西洋畫ノ沿革ヲ示スタメ歐洲名家作品ノ摸写ヲ系統的ニ備ヘ彫刻モ亦東西ノ名作ヲ摸造シテ教授上ノ資料參考トスルハ實ニ目下ノ急務ナリト雖モ從來ノ經費ニテハ到底引足ラザルヲ以テ豫算ニ計上スルガ如ク此際等ノ費用ヲ支出セラレンコトヲ切望ス

#### 職員

本年度ニ於ケル職員ノ數ハ學校長一人教授三十人助教十六人書記六人囑託講師十四人同教員十三人同醫師一人副科囑託三人教務雇七人事務雇九人ニシテ之ヲ前年度末ニ比スレバ教授ニ於テ増減ナク助教雇ハ三人ヲ減ジ書記ハ増減ナシ 囑託講師ハ一人ヲ増シ同教員ハ二人ヲ減ジ副科囑託ハ一人ヲ増シ教務雇ハ二人事務雇ハ一人ツ、ヲ増シタリ

本校教官ニシテ文部省在外研究員タルモノハ前年度末教授三人ナリシガ本年度ニ在リテハ教授四人助教一人ナリ

休職員ニハ前年度末教授一人ナリシガ本年度ニ在リテハ教授三人

助教授一人ナリ  
生徒

全躰ニ於ケル生徒ノ学力操行並健康ノ状態ハ前年度ニ比シ特ニ著シキ差違アルヲ認メズ 新入学生ニ在リテモ大要亦同一状態ニシテ其健康ノ程度ハ佳良ナル方ナリ

本年度新入学者ハ本科九十三人選科十人(外ニ外國人六人アリ) 圖畫師範科二十二人研究生三十三人ニシテ其入学者ノ学力程度ハ本科生ニ在リテハ官公立中学校卒業業者四十五人(四十五人トモ豫備科修了ノモノ)私立中学校卒業業者三十人(三十人トモ豫備科修了ノモノ)師範学校卒業業者二人(二人トモ豫備科修了ノモノ)工業学校卒業業者十二人(十二人トモ豫備科修了ノモノ)工業学校卒業業者三人(三人トモ豫備科修了ノモノ)本校卒業ニシテ再入學ノモノ一人ナリ 選科ニ在リテハ中学二年修了者三人高等小学校卒業業者四人一年修了者二人本校卒業業者ニシテ再入學セシモノ一人ナリ 圖畫師範科生ニ在リテハ官公立中學校卒業業者四人私立中學校卒業業者一人府縣師範学校卒業業者十七人ナリ 研究生三十三人ハ孰レモ本科卒業業者ノ入學シタルモノトス

新入学生ノ年齢ハ本科生ニ在リテハ最高二十六年二月月最低十七年六月平均二十一年四月月ナリ 選科生ハ最高三十二年四月月最低十八年二月月平均二十三年五月月ナリ 圖畫師範科ハ最高二十四年十一月月最低十九年五月月平均二十二年五月月ナリ 研究生ハ最高三十二年三月月最低二十一年三月月平均二十六年八月月ナリ(以上外國人ハ除ク)

生徒ノ入退學ハ本年度入学者ハ本科九十三人選科十人(外ニ外國

人六人アリ)圖畫師範科二十二人研究生三十三人再入學者一人ニシテ退學者ハ病氣退學七人家事係累退學十七人除名十一人死亡六人在學資格消滅三十三人(内豫備科五人研究生二十八人)轉科二人復校一人ナリ 今之ヲ前年度末ニ比スレバ入学者ニ在リテハ本科ニテ十三人選科ニテ二人圖畫師範科ニテ一人ヲ減ジ研究生ニ十人ヲ増加シタリ 退學者ニ在リテハ病氣退學ニ四人ヲ増シ家事係累退學ニ十三人ヲ減ジ又除名ニ四人死亡ニ三人ヲ減ジ資格消滅ハ豫備科ニ三人研究生ニ二十三人ヲ増シ圖畫師範科ニハ前年度末モ今年度モ一人モナシ 轉科ハ四人ヲ減ジ復校ハ前年度末モ本年度モ共ニ一人ニシテ増減ナシ

生徒ノ員數ハ本年度末ニ於テ之ヲ前年度ニ比スレバ彫刻科ニ四人圖案科ニ六人ヲ増シ日本畫科ニ三人西洋畫科ニ一人鑄造科ニ三人漆工科ニ二人製版科ニ七人臨時寫真科ニ五人選科ニ一人研究生ニ十四人圖畫師範科ニ二人ヲ減ジ總體ニ於ケル差引ハ二十七人ノ減少ナリ 此減少ノ原因ハ製版科及臨時寫真科ニテ本年度新入學ノモノナキト研究生ノ在學期限滿了シテ退學ノモノ前年度ニ比シテ特ニ多カリシニ依ル 又此外ニ本年度末外國人ノ在學ハ選科ニ十三人アリ 前年度末ニ比シ一人ヲ減ゼリ

本年度ノ卒業生ハ本科九十一人選科十一人圖畫師範科二十二人(内二人ハ外國人ニシテ特別學生)計百二十四人ニシテ前年度ニ比スレバ十二人ヲ増加セリ 是レ本科生中日本畫西洋畫ノ二科及圖畫師範科ニ於ケル卒業人員前年度ニ比シテ多カリシニ因レリ 而シテ此ノ如ク比年卒業生ノ増加シツ、アル趨勢ハ依然持續サレ居レリ

生徒中藝術品行殊ニ優等ナルモノヲ選ビ本校規則第二十六條ニ依リテ特待生ト爲シ大正九年七月ヨリ一學年間ノ授業料ヲ免除シタルモノ二十二人アリ之ヲ前年度ニ比スレバ二人ヲ増加セリ

圖書師範科生徒ニハ前年度ト同ジク學術又ハ技藝ノ優秀ナルモノニ等差ヲ付シテ奨励金ヲ給與セリ即チ大正九年十一月及同十年二月ノ兩回ニ圖書師範科生徒ノ競技會ヲ催フシ其成績ヲ考査シ優勝ナルモノニ奨励金ヲ與ヘ又年度末ニ於テ別ニ學術操行ノ優等ナルモノヲ撰拔シテ同ジク奨励金ヲ付與シタリ

大正十年三月末卒業スベキ各本科并ニ選科生徒等六十四名ノ實地修學ノタメ本年度ノ初四月一日ヨリ同月十七日ニ至ル十七日間教授一人助教二人講師二人書記一人雇員一人之ガ引率ニ任ジ京都、奈良、和歌山ノ一府二縣ニ出張シテ美術上ノ研究ヲ爲サシメタルコト前年ニ同ジ

同ジク大正十年三月末卒業スベキ圖書師範科生徒二十二人ヲシテ實地授業法ノ調査研究ノタメ本年度十月十日ヨリ同月十九日ニ至ル十日間教授一人之ヲ引率シ愛知、三重、奈良、京都、大阪、滋賀ノ二府四縣下ニ出張シ調査研究ヲ爲サシメタリ

本校ニ於テハ生徒皆通學ナルヲ以テ寄宿舎ニ関シテ申報スベキ事項ナシ

#### 將來施設上重要ト認ムル件

##### 専任生徒監設置ノ件

本校ニ於ケル生徒監ハ文部省直轄學校官制ノ定ムル所ニ依リ奏任教官中ヨリ補任セラル、コト、爲リ居ルモ本校ノ如キ特ニ藝術ヲ主トスル學校ニ在リテハ教官中ヨリ生徒監タル適任者ヲ得ルコト

甚ダ難キ事情アリ又生徒監ノ職責タル生徒訓育上ヨリ見ルモ藝術ヲ主トシテ一意邁往シ深ク世間の事情ヲ顧慮セザル傾向多キ本校生徒ニ對スル訓育ハ他校生徒ニ比シテ又一層周密ノ注意ト多大ナル勞務トヲ要スベキモノアリ故ニ教官ノ兼職トシテハ其職責ヲ徹底ナラシムル上ニ於テ頗ル遺憾ヲ感ゼザルヲ得ザル場合アリ是レ本校生徒監ノ専任官タルヲ希望スル所以ニシテ其任命上ニ於テモ廣ク校ノ内外ヨリ適任者ヲ物色シ得ルノ便宜アリ以上ノ理由ニ依リ本校ニハ専任生徒監ヲ設置サレンコトヲ希望ス

##### 在外研究員並ニ教官ノ一時的外國派遣ノ件

歐洲大戰ニ因リ一時中絶セラレ居タル在外研究員ノ任命派遣モ大正八年度以來復舊サレ本校教官中ヨリモ已ニ數名ノ任命派遣アリシハ甚ダ喜ブ所ナリ但將來ニ在リテモ引續キ尚年々一兩名ノ任命派遣アラントヲ希望スルナリ而シテ從來ノ在外研究員ハ主トシテ歐米ノ諸國ニ派遣セラレシモ本校ノ如キ特殊藝術ヲ研究スルモノニ在リテハ東洋方面ノ支那印度等ヘモ派遣アリテ其ノ古美術ヲ調査シ系統ヲ研究セシムルコトモ亦緊要ト認メラル、ヲ以テ將來此方面ニ於ケル研究員モ併セ命ゼラレンコトヲ希望ス

又在外研究員ノ外ニ時々二三ノ教官ヲ一時的ニ外國ニ派遣シ學術上並ニ美術上ノ實地視察又ハ探究ヲ爲サシメ比較的短日中間ニ適切ナル新知識ヲ獲得セシメ直ニ授業上ニ應用シテ裨補スル所アラシメバ必ズ效果ノ著シキモノアルベシト思料ス是亦在外研究員ト併セテ緊要ノ件ナリト認ムルヲ以テ實行アラントヲ切望スルナリ

##### 工藝部諸建物修繕費ノ件

本校工藝部ノ諸建物即チ金工科、鑄造科、漆工科、製版科、臨時写真科、並ニ圖書師範科ニ使用セル諸教室其他ノ付属建物等ハ原來其構造粗悪不完全ニシテ且年數ヲ閱シタル結果朽損又ハ破壊ノ箇所モ少カラズ 是等ヲ一部改造シ又ハ比較的堅牢ニ修繕ヲ加フルハ到底經常費ノ少額ナル修繕費ヲ以テ支辨シ得ベキニ非ラザルニ付此際特ニ其修繕ニ要スル費用ヲ支出サレンコトヲ望ム

豫備科教室新築ノ件

本校豫備科生徒ノ教育ハ從來各科ニ分属シテ教授シ或ル共通学科ヲ授クル場合ニノミ一講堂内ニ集合授業ノ方法ヲ用ヒシガ大正八年ヨリ豫備科授業ノ一部分ニ改善方法ヲ講シタル結果圖案科、金工科、鑄造科、漆工科ノ豫備科生徒ハ平日モ集合教授制ノ下ニ一教室ニ収容シテ諸種ノ實技習作ニ従事セシムルコト、シタルモ適當ナル教室ナキヲ以テ僅ニ銃器収納室ノ内部ニ急設的改造ヲ加ヘテ假ニ其教室ニ充テ前記豫備科生徒ノ授業ヲ實行シ居ルモ斯卡ル假造的教室ニテハ不備不便甚シキヲ以テ授業上十分ノ效果ヲ致シ難キ遺憾アリ 因テ此等豫備科生徒ノ為ニ設備ヲ完全ニシタル一教室ヲ新築スルノ必要アリ 是實ニ急施ヲ要スル件トシテ尤モ切望スル所ナリ

陳列館新築ノ件

本校ニ於テ多年蒐集貯藏セル美術上ノ参考標本ヲ平時常ニ陳列展覽セシメテ生徒ノ教養ニ資セシムルノミナラズ延イテ校外ノ篤志者ニモ參觀ヲ許シ美術工藝界ヲ裨益スルノ目的ヲ以テ本校ニ陳列館新築ノ必要アルハ前數年間ノ年報ニ於テモ反覆縷陳シタル所ナリガ美術思想ノ普及高潮シタル今日ニ在リテハ益々其必要ナルヲ

感ズル一切ナリ 故ニ本校陳列館ノ新築ガ單ニ意見又ハ希望トシテ取扱ハル、コトナク速ニ實現セラル、ニ至ルコトヲ切望シテ止マザルナリ

雜件

生徒實驗ノ資ニ供スルタメ諸所ノ依頼ヲ受ケ製作ニ従事シタルモノ、中重モナルモノヲ舉グレバ左ノ如シ

依頼製作一覽

品名	數量	受託年度	本年度内 竣工未竣工	依頼者
御飾時計	壹個	大正七年度	未竣工	東京市
黃金鼎	壹個	前年度	同	同
文房具	壹個	同	同	同
群芳譜	貳卷	同	同	同
木彫鹿鷄置物	貳個	同	竣工	宮内省調度寮
三輪田眞佐子銅像	壹基	同	未竣工	三輪田元道
銀製花盛器	壹對	本年度	竣工	東洋殖産株式會社
詹天祐銅像	壹基	同	未竣工	橋三郎
銀製花瓶	壹對	同	竣工	福岡縣八幡町
御紋付銀製五獅子香	壹合	同	同	宮内省調度寮
得能良介銅像	壹基	同	未竣工	池田敬八